

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1階 1	38	歩行が不自由な入居者が行動を起こすと、一律にすぐに声掛けをしてしまうことがある。また、入居者が座る際にも、座る場所を指定している場合がある。	職員の都合での誘導ではなく、必要に応じての誘導を心掛ける。職員も入居者の行動を見守るよう、ゆとりを持って対応する。	職員同士の情報共有と入居者の行動把握を強化し、入居者個々の行動に応じたリスクマネジメントを再考する。	2か月
2階 2	44	便秘がちな入居者が多い。	入居者の排便状況を把握し、一人ひとりスムーズに排泄できるようにする。	入居者の排便状況を把握する。水分摂取量を把握できるように表を作成し、管理する。日常的に体を動かす習慣をつける。	3か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。